

高木厚人

仮名で景色を創る

山ざと

2026年

2月15日(日)～3月22日(日)

会場 1階 特別展示室、3階 書道美術常設展示室
開館時間 9時30分～17時
休館日 月曜日（ただし2月23日は開館、翌日休館）

観覧料

一般 520円（410円）
高校・大学生 360円（290円）
小・中学生 260円（200円）

（）内は20人以上の団体割引料金。

高齢者（65歳以上）と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。
小・中・高校生は土・日・祝日・春休み期間中は無料。

主催 徳島県立文学書道館
後援 徳島県教育委員会　徳島新聞社　四国放送

関連イベント

トーク&席上揮毫

講師 高木厚人（日展特別会員）

日時 2月15日(日) 10時30分～正午

定員 150人 *申込締切2月5日(木)、申込多数の場合は抽選。

展示解説

講師 松山佳代（当館学芸員）

日時 2月21日(土)、3月7日(土)、3月20日(金・祝)

11時～11時30分 *申込不要、観覧券必要。

言の葉ミュージアム

徳島県立文学書道館

〒770-10807 徳島市中前川町2丁目22-1

TEL 088-625-7485

FAX 088-625-7540

Eメール kotonoha@bungakushodo.jp





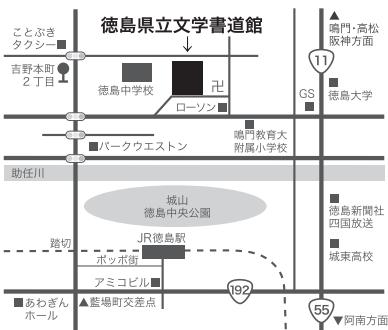
今回の特別展のために書かれた「西行の森(II)」 縦225cm×横70cm×11面



高木 厚人

1953年、千葉県生まれ。京都大学文学部哲学科美術史学専攻卒業。大学入学時より杉岡華邨に師事。日展では1992年と96年に特選、2005年に日展会員賞、18年に内閣総理大臣賞を受賞。24年に前年の日展作品「山ざと」が日本芸術院賞受賞。12年から現代書道二十人展に出品。日展特別会員。大東文化大学名誉教授。現在、日本書芸院副理事長、日本書道文化協会理事、全日本書道連盟常務理事、臨池会理事長、奈良市杉岡華邨書道美術館館長などを務める。

交通アクセス <JR徳島駅から>



〔徒歩〕約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つめの信号交差点を右折して約300m。(徳島中学校東隣)。

〔バス〕約10分

「吉野本町2丁目」バス停下車、徒歩約5分。

〔タクシー・自動車〕約5分

◆徳島阿波おどり空港からJR徳島駅まで

リムジンバスで約25分

◆駐車場 北側・南側 (62台・大型バス2台)

主な展示作品

「山ざと」 2023年・日展・日本芸術院賞

「春」 2005年・日展・日展会員賞 (成田山書道美術館蔵)

「吉野山」 2018年・日展・内閣総理大臣賞 (成田山書道美術館蔵)

「春立つ日のうた」 2019年・日本書芸院展

「源氏屏風(III)」 2023年・現代書道二十人展

「西行屏風『花』」・「西行屏風『恋』」 2026年、現代書道二十人展

「西行の森(II)」 今回の特別展のための新作

トーケ & 席上揮毫 〈申込方法〉

はがき・FAX・メールのいずれかに、イベント名、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号をご記入のうえ、お申しこみください。当館1階受付でも申し込めます。

書家・高木厚人は、師 杉岡華邨の書風を基盤としつつ、書による自己表現と現代性を追求した作品を制作してきました。2012年からは現代書道二十人展のメンバーとなり、18年に日展・内閣総理大臣賞、24年には日本芸術院賞を受賞するなど、日本を代表する書家の一人として活躍しています。

本展では、これまでの代表作や、西行の和歌を題材に、今回の特別展のために書かれた横8メートルの大作「西行の森(II)」など約30点を展示し、独特の力強い筆致と巧みな墨色の表現が織りなす独自の世界を紹介します。